

【小矢部市】
校務ＤＸ計画

１ これまでの小矢部市の取組について

小矢部市では、平成30年度に統合型校務支援システムを導入し、また、令和２年度にＧＩＧＡスクール構想の整備を行い、クラウドサービスを活用した児童生徒へのアンケートの電子化などといった取り組みにより、教員・生徒間などの情報共有やペーパーレス化を推進してきた。

さらに、令和４年度に学校と保護者との間の連絡ツールである保護者アプリを導入することで、保護者へ配布する文書の電子化や、アプリを活用した保護者から学校への欠席連絡の活用を進めることで、学校業務における負担軽減などを図ってきた。

２ 小矢部市の課題について

小矢部市では主に次のような課題が見受けられる。

- ・クラウドサービスなどのＩＣＴ活用状況について、各学校間で差が見受けられる。
- ・紙での提出が必要な書類があるなど、ペーパーレス化を進める上では大きな阻害となっている手続等がある。

３ 今後の校務ＤＸの取組について

今後、次のことについて主に取り組む

- ・市内小中学校、教育委員会との間での会議の場などを活用し、積極的な情報交換やＩＣＴ支援員の活用等により、学校全体のＩＣＴスキルの向上に取り組む。
- ・校務の効率化・ペーパーレス化を行うに当たり大きな阻害となるＦＡＸや押印の原則廃止に取り組む。
- ・統合型校務支援システムへの名簿情報等の不必要な入力作業の一掃に取り組む。
- ・次世代校務ＤＸ環境（教育ダッシュボード等）に向けた整備・活用について、調査研究しながら取り組むとともに、次世代の校務ＤＸにおける情報セキュリティを高めるため、「小矢部市教育情報セキュリティポリシー」を新たに作成する。